

実務者研修会は、福井県立病院海崎泰治先生、大阪府立成人病センター井岡亜希子先生から病期分類とがん登録で用いる進行度分類について、宮城県立がんセンター西野善一先生、新潟プレストセンター佐野宗明先生から検診の精度管理の実際について講演していただきました。

総会研究会プログラムに引き続き、公開講座「がん登録はどのようにがんの征圧に役立っているか—がん登録の利用—」と題し、同日、同会館で行われた新潟県がん征圧月間行事との共催で講演会を行いました。司会は新潟県がん登録室小越和栄とともに国立がんセンター祖父江友孝先生が務められ、大阪府立成人病センター大島 明先生、新潟青陵大学中平浩人先生からがん登録の必要性が述べられ、新潟県がん登録室から内藤みち子、小松原秀一が新潟県のがん罹患のデータとがん検診の精度管理への応用について講演いたしました。



写真1. 会場の様子



写真2. 情報交換会

## 第19回地域がん登録全国協議会総会・研究会のご案内（第一報）

岡本 直幸

神奈川県立がんセンター

日頃より地域がん登録全国協議会へのご支援、ご協力を感謝いたしております。第19回の総会・研究会の開催の予定につきご案内申し上げます。

平成22年度は、皆様ご承知のように第32回国際がん登録協議会（IACR）の学術総会が開催されること、本協議会がNPO法人として新たな活動を展開することになるため、変則的な開催となりますことをご諒解下さい。大きな変更点は以下の二点です。

- ① NPOへの移行により、総会を6月末までに開催せねばならないこと。平成22年度の総会は6月末までの開催を目指して調整中です。
- ② 研究会はIACRの学術総会に合わせて実施すること。

平成22年度の研究会は、例年の9月初旬ではなく、第32回のIACR学術総会（平成22年10月11日～15日）の開催に合わせて行います。内容はポスター発表と公開講演会を予定しています。大まかな予定は次のようになっています。

平成22年10月11日（月、終日） IACR 共催「がん登録研修会：生存率について（英語）」
12日（火、終日）IACR 学術集会（英語）
13日（水、終日）IACR 学術集会（英語）
14日（木、午前）IACR 学術集会（英語）
14日（木、午後）アジア地域がん登録ネットワーク会議（英語）
15日（金、午前）第19回地域がん登録全国協議会研究会 （ポスター、英語／日本語）
15日（金、午後）公開講演会（通訳あり）

第19回の地域がん登録全国協議会の総会は6月4日（金）に、研究会は10月15日（金）の午前中（ポスター発表）、午後（公開講演会、通訳あり）となります。ポスターの募集は7、8月ごろを予定し、公開講演会に関しまして現在調整中です。総会の日程および研究会の内容等が決まり次第、皆様へご連絡をする予定です。